

オーラル・サマリーの提示	生徒が元になるメッセージ (e.g. リーディング英文, リスニング英文, 生徒によるまとまりのある発話) を読んだ/聞いた後で, その概要や要点を英語で生徒に提示する活動		
	英語の正確さ	発話 (要約) 内容の適切さと語り の工夫	生徒を意識した言語使用
4	正確な英語 (発音・語彙・文法) を用いて, 要約の提示ができています。	(1) 元になるメッセージ内容を, 的確に再構成した要約を提示している (例えば, “The writer makes three main points” など)。 (2) プロソディー (e.g. 声量, ピッチ, スピード, ポーズ) の効果的な調節により大変表情豊かな語りになっており, その韻律が要約内容の理解を深めている。	生徒の言語知識だけでなく言語処理能力 (e.g. どの程度の長さや複雑さの文であれば処理できるか) を十分に考慮に入れ, 文の長さや構文の複雑さを調整したり, ポーズを活用したりして要約を提示しており, その生徒は高い集中力を保って要約を聞くことができています。
3	その場で即興で作った部分についても, ほぼ正確な英語 (発音・語彙・文法) を用いて要約の提示ができています。	元のメッセージの本質的な内容を簡潔にまとめた要約となっている。	生徒が持つ言語知識を十分に考慮に入れて英語を使っているため, 要約で用いられている英語と生徒の英語知識のレベルがうまく一致している。
2	(1) 事前に準備した要約については, ほぼ正確な英語 (発音・語彙・文法) を用いて提示することができています。 (2) 生徒の理解状況をモニターして調整した部分 (=即興で作った部分) については, 発音・語彙・文法の正確さに問題はありますが, 意味は十分に通じるレベルの英語となっている。	分量的に長く, また元のメッセージからそのまま引用する形が多くなりながらも, 重要な内容をほぼ含めた要約を提示することができています。	生徒が持つ言語知識 (e.g. どの単語・文法が既習か) を考慮に入れ, 未習の語彙が多くなるように, また理解しやすい文法構文を用いて要約を提示しており, 要約で用いられている英語と生徒の英語知識のレベルがおおよそ一致している。
1	事前に準備した要約についても, 深刻な英語の誤り (通じない発音, 不適切な語彙選択, 明らかな文法的誤りなど) が見られる。	(1) 元のメッセージをほとんどそのまま繰り返しており, 簡潔な言い換えになっていない。 (2) 原稿の棒読みのような語りになっている。	全体的に, 用いられている英語 (文法・語彙) が生徒の英語知識のレベルにマッチしておらず (過度に難しい), 生徒が要約を理解することができていない。